なお、縦目地部に超高強度コンクリートを打設しプレストレスを導入しない構造を全断面プレキャストＰＣ床版と同等とみなす例として、ＮＥＸＣＯ試験方法試験法442「プレキャストＰＣ床版接合部の疲労耐久性試験方法」により耐用年数100年相当の載荷荷重及び載荷回数に対して漏水がないことを確認することに加えて、以下の項目を満足することを適切な方法で立証できない場合は、不適格とする。

・主桁による拘束の影響を考慮した上で、超高強度コンクリートの打設後に縦目地部の接合部付近にひび割れが生じないこと。

また、上記の項目を立証するために、技術提案の規定枚数とは別に説明資料を添付することができる。説明資料は簡潔かつ明瞭に表現するものとし、Ａ４判片面４枚またはＡ３判片面２枚以内にまとめるものとする。説明資料により上記の項目を立証していると発注者が判断できない場合、当該技術提案は不適格とする。

⑶　技術提案の評価基準

技術評価項目①～⑤の評価基準は、下記のとおりとする。

・下記評価基準をもとに、提案された内容について、提案者の優劣を相対的に評価

設計計画

①　構造の成立性

ⅰ）優　床版取替工の取替床版及び主桁補強等の構造について、与えられた条件を十分に理解し、構造概要、設計手法、施工時の安定性、構造の成立性、耐久性、施工実績、適用上の課題及び対策案が示されており、提案内容の具体性・信頼性が高いと認められる内容のもの

ⅱ）良上　「優」に比べ、やや劣ると認められる内容のもの

ⅲ）良　与えられた条件に基づいた、適用上の課題と対策案が示されており、提案の具体性・信頼性が認められる内容のもの

ⅳ）良下　「良」に比べ、やや劣ると認められる内容のもの

ⅴ）可　要領等の一般的基準による事項は述べられているが、提案の具体性が認められない内容のもの

ⅵ）不可　要求要件や諸基準等を満たしていない内容のもの。所定の枚数を超えているもの

②　維持管理

ⅰ）優　施工する床版（荏田第一橋、荏田第二橋を含む）の維持管理について、与えられた条件を十分に理解し、交通特性や架橋条件に基づいた維持管理手法の課題と対策案が示されており、耐用年数による評価やライフサイクルコストの提示など、提案内容の具体性・信頼性が高いと認められる内容のもの

ⅱ）良上　「優」に比べ、やや劣ると認められる内容のもの

ⅲ）良　与えられた条件に基づいた、維持管理手法の課題と対策案が示されており、提案の具体性・信頼性が認められる内容のもの

ⅳ）良下　「良」に比べ、やや劣ると認められる内容のもの

ⅴ）可　要領等の一般的基準による事項は述べられているが、提案の具体性が認められない内容のもの

ⅵ）不可　要求要件や諸基準等を満たしていない内容のもの。所定の枚数を超えているもの

施工計画

③　施工計画

ⅰ）優　重交通路線及び国道上、都市部での床版の施工において、与えられた条件を十分に理解し、以下に示す項目における施工計画の課題と対策案が示されており、提案内容の具体性・信頼性が高いと認められる内容のもの。

ア）車線数を確保しながらの分割施工方法

イ）工程短縮による交通事故リスクの軽減への対応

ウ）新旧床版継ぎ目部の交通荷重・排水への対応

エ）交差道路への防護、施工時の騒音対策

オ）施工体制のほか、必要と考える課題

ⅱ）良上　「優」に比べ、やや劣ると認められる内容のもの

ⅲ）良　与えられた条件に基づいた、供用中道路に対する影響を最小化するための施工計画が示されており、提案の具体性・信頼性が認められる内容のもの

ⅳ）良下　「良」に比べ、やや劣ると認められる内容のもの

ⅴ）可　要領等の一般的基準による事項は述べられているが、提案の具体性が認められない内容のもの

ⅵ）不可　要求要件や諸基準等を満たしていない内容のもの。所定の枚数を超えているもの

④　安全管理

ⅰ）優　労働安全衛生マネジメントシステム等を導入し、本工事に応じた組織的かつ継続的に安全管理活動を行うための具体的な計画について、与えられた条件を十分に理解し、安全管理上の基本要素、推進体制及び課題等が示されており、提案内容の具体性・信頼性が高いと認められる内容のもの

ⅱ）良上　「優」に比べ、やや劣ると認められる内容のもの

ⅲ）良　与えられた条件に基づいた、安全管理上の基本要素等が示されており、提案の具体性・信頼性が認められる内容のもの

ⅳ）良下　「良」に比べ、やや劣ると認められる内容のもの

ⅴ）可　要領等の一般的基準による事項は述べられているが、提案の具体性が認められない内容のもの

ⅵ）不可　各種の法令、示方書、ＮＥＸＣＯ設計要領等の一般的基準を満たしていない内容のもの。所定の枚数を超えているもの

⑤　品質管理

ⅰ）優　道路を供用させながら施工する、荏田第一橋、荏田第二橋の床版（床版接合部を含む）等の品質管理について、与えられた条件を十分に理解し、品質管理上の課題及び対策案とその施工実績等が示されており、提案内容の具体性・信頼性が高いと認められる内容のもの

ⅱ）良上　「優」に比べ、やや劣ると認められる内容のもの

ⅲ）良　与えられた条件に基づいた、品質管理上の課題と対策案が示されており、提案の具体性・信頼性が認められる内容のもの

ⅳ）良下　「良」に比べ、やや劣ると認められる内容のもの

ⅴ）可　要領等の一般的基準による事項は述べられているが、提案の具体性が認められない内容のもの

ⅵ）不可　要求要件や諸基準等を満たしていない内容のもの。所定の枚数を超えているもの

⑷　技術評価点の付与方法【判定方式】

技術評価点の付与方法は以下のとおりとする。

評価基準により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

設計計画

①　構造の成立性

・技術評価点（20点）　優 20.0 点 ・ 良 上 15.0点・良10.0点・良下5.0点・可０点・不可（不適格）

②　維持管理

・技術評価点（20点）　優 20.0 点 ・ 良 上 15.0点・良10.0点・良下5.0点・可０点・不可（不適格）

施工計画

③　施工計画

・技術評価点（30点）　優 30.0 点 ・ 良 上 22.5点・良15.0点・良下7.5点・可０点・不可（不適格）

④　安全管理

・技術評価点（10点）　優10.0点・良上7.5点・良5.0点・良下2.5点・可０点・不可（不適格）

⑤　品質管理

・技術評価点（20点）　優 20.0 点 ・ 良 上 15.0点・良10.0点・良下5.0点・可０点・不可（不適格）

⑸　入札参加者の選定方法　技術提案の内容により、最大（満点）100点の技術評価点を付与し、技術評価点50点以上の者を入札参加者として選定する。